米軍と空自連携し、貨物を縛着

US and JASDF Airman team up to tie-down cargo

November 10, 2016

By Yasuo Osakabe
374th Airlift Wing Public Affairs

（写真1）横田基地で11月6日、演習「キーンソード2017」の一環で米空軍のC－17グローブマスターIIIの機体にバックで乗り入れる航空自衛隊千歳基地第3高射群第10高射隊所属の発電装置車両。

発電装置車両が米軍機に積まれるのは初めて。米軍の諸部隊は、日本、マリアナ諸島とその周辺の軍事施設でカウンターパートの自衛隊と演習を行った。

全参加部隊は、日本の防衛を助けるための必須な能力と相互運用性の訓練を行い、インド・アジア太平洋地域で起こりうる危機や有事に対応するための包括的なシナリオに基づいて演習した。

1

（写真2）同演習で11月6日、航空自衛隊発電装置車両が動かないように縛着の作業を行う第730航空機動中隊航空貨物技術師のアシュリー・デニス一等空兵(右)とガルダメズ・モラン一等空兵(左)。

2

（写真3）同演習で11月6日、縛着を終えた自衛隊の発電装置車両を見る航空自衛隊の隊員たち。

3